

地域医療連携推進法人につきて

一般社団法人 湖南メディカル・コンソーシアム

代表理事 吉川隆一 / 理事 柏木厚典 / 理事 加藤英材

第1 法人概要

法人の概要

1. 名称

地域医療連携推進法人 湖南メディカル・コンソーシアム（認定後）

2. 代表者

代表理事 吉川 隆一

3. 主たる事務所の位置

滋賀県草津市草津三丁目9番14号

4. 目的

本法人は、医療連携推進方針に基づき、医療・介護従事者の資質向上、医療機能の相互補完、地域包括ケアの推進、参加法人の経営効率向上等に関する大津・湖南地域における医療連携推進業務を行い、地域医療構想の達成及び地域包括ケアシステムの構築に資することを目的とする。

法人の概要

5. 医療連携推進区域

滋賀県大津市、草津市、栗東市、守山市、野洲市

6. ご参加者

- ・一般社団法人 誠光会
- ・医療法人 華頂会
- ・医療法人 スマイル
- ・医療法人 芙蓉会
- ・医療法人社団 井上医院
- ・医療法人社団 富田クリニック
- ・金田医院
- ・社会医療法人 誠光会
- ・社会福祉法人 華頂会
- ・社会福祉法人 誠光福祉会
- ・社会福祉法人 しあわせ会
- ・社会福祉法人 よつば会
- ・特定非営利活動法人 ゆうらいふ

法人の概要

7. 理念と運営方針（医療連携推進方針より）

（理念）

湖南メディカル・コンソーシアムは、大津市、草津市、栗東市、守山市、野洲市域において滋賀県が進める地域医療構想と地域包括ケアシステムの実現を目指し、切れ目のない医療・介護サービスを将来にわたって安定的に提供することを目指します。

（運営方針）

湖南メディカル・コンソーシアムでは、地域医療構想と地域包括ケアシステムの実現を目指し、以下の取り組みを実施いたします。

- 一、参加法人の個性や特徴を活かしつつ相互連携を進め、安定的かつ持続可能な施設運営を支援いたします。
- 一、地域包括ケアシステムの構築を行政他関連団体と共に進め、地域住民が住み慣れた地域で、切れ目なく適切な医療、介護、生活支援を享受できるよう取り組みます。

法人の概要

8. 医療連携推進業務（医療連携推進方針および定款より）

- (1) 医療連携推進方針に沿った連携を推進するための医療機能の相互補完
- (2) 在宅医療との業務連携を推進し、患者・利用者が参加法人施設間で移動が必要となった際にはサポートカーを運行
- (3) 予防医療の充実
- (4) 医療・介護従事者の資質向上に資する共同研修
- (5) 参加法人内で不足する介護従事者の養成
- (6) 参加法人間の職員相互派遣
- (7) 患者・利用者に最適な医療・介護サービスを提供するための施設稼働状況や退院患者・施設入所待機者等の情報共有
- (8) 医療機器の共同利用
- (9) 経営効率向上に資するノウハウの共有
- (10) 医薬品・医療材料・医療機器・給食サービス・情報システム・業務委託等の一括価格交渉および共同購入
- (11) 給与計算・採用活動・広報活動・決算業務等の管理業務の効率化
- (12) 前各号に掲げるものの他、地域医療連携推進に関する事業

法人の概要

9. 地域医療連携推進評議会

- | | | |
|-------------|--------|-----|
| ・大津市医師会 | 木村 隆 | 会長 |
| ・草津栗東医師会 | 中嶋 康彦 | 会長 |
| ・守山野洲医師会 | 福田 正悟 | 会長 |
| ・済生会滋賀病院 | 三木 恒治 | 院長 |
| ・大津市健康保険部 | 西村 和利 | 部長 |
| ・草津市健康福祉部 | 西 典子 | |
| ・滋賀県社会福祉協議会 | 馬場 八州男 | 副会長 |

第2 大津医療圏の現状と将来

大津医療圏の現状と将来

～滋賀県地域医療構想 第1章 大津区域より～

1. 人口

大津区域の人口は、滋賀県の総人口の24.1%を占めています。国立社会保障・人口問題研究所の将来予測よりも早く、既に人口減少局面に入っており、今後も減少傾向で推移していくことが予測されます。一方で75歳以上人口は、2025年には2010年時点の1.8倍まで増加する予測となっており、2040年まで増加傾向となることから、**機能的で高効率の医療・介護提供モデルを構築**する必要があると考えます。

2. 病床

	実数	人口10万人あたり	
		全国平均との差	滋賀県平均との差
病院病床数	4,148	▲ 21.5	181.1
一般病床	2,481	21.7	63.6
療養病床	656	▲ 65.7	▲ 2.3
精神病床	956	13.1	111.0
有床診療所病床数	122	▲ 59.6	▲ 7.9

現在、療養病床は、全国平均を大きく下回っています。病床機能の確保・充実にあたっては病院間の連携が不可欠であると考えます。また、不足する慢性期医療の整備にあたっては、開業医の先生方や近隣医療圏との連携も必要であると考えます。

大津医療圏の現状と将来

～滋賀県地域医療構想 第1章 大津区域より～

3. 病床利用率・平均在院日数

	病床利用率	全国平均との差	滋賀県平均との差	平均在院日数	人口10万人あたり	
					全国平均との差	滋賀県平均との差
一般病床	79.7	4.2	4.2	14.6	▲ 2.6	▲ 2.5
療養病床	94.4	4.5	3.8	214.7	46.4	35.4

病床利用率は、一般病床・療養病床ともに全国値、滋賀県値を上回っています。これに対し、平均在院日数は、一般病床では、短くなっていますが、療養病床では全国値、滋賀県値を大きく上回っている状況です。今後の75歳以上人口の増加に対応するため、退院調整機能の強化をはかり、病床の効率的運用に取り組む必要があると考えます。

4. 医療従事者

	実数	人口10万人あたり			実数	人口10万人あたり	
		全国平均との差	滋賀県平均との差			全国平均との差	滋賀県平均との差
医師	1,246	119.5	142.1	看護師	3,502	169.1	125.2
歯科医師	212	▲19.8	5.5	理学療法士	120	—	▲ 3.7
歯科衛生士	252	▲17.2	▲ 9.4	作業療法士	44	—	▲ 8.1
薬剤師	789	4.1	23.5	言語聴覚士	14	—	▲ 0.8

歯科衛生士・PT・OT・STでは、県平均を下回る医療従事者数となっています。これらの職種の確保に加え、上回っている職種についても今後具体化される「働き方改革」の各事項を履行する為に近隣の法人が人的資源を互いに補完し合う仕組みを構築する必要があると考えます。

大津医療圏の現状と将来

～滋賀県地域医療構想 第1章 大津区域より～

5. 在宅医療・介護サービス施設

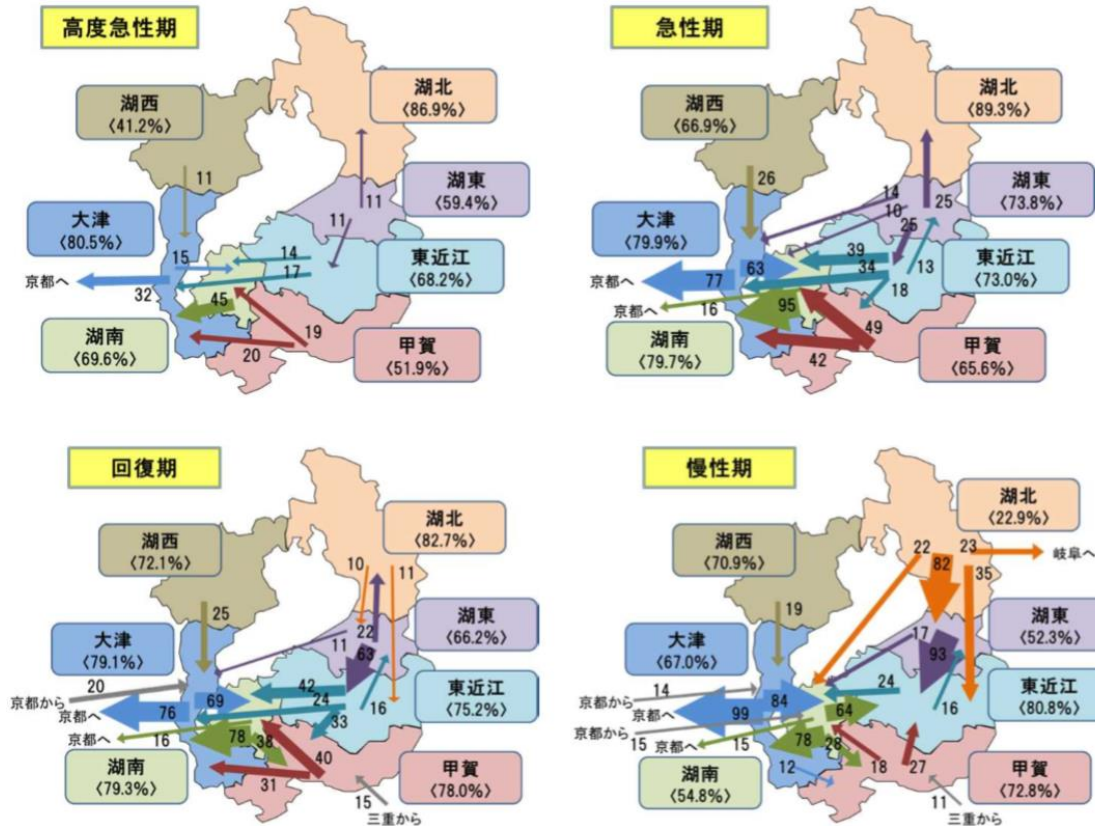
	実数	人口10万人あたり
		滋賀県平均との差
在宅療養支援診療所	45	4.7
訪問看護ステーション	23	0.3
介護老人福祉施設	1,133	▲ 77.6
介護老人保健施設	549	▲ 47.1
有料老人ホーム	1,036	201.1
サービス付き高齢者住宅	403	▲ 5.0

有料老人ホームでは、滋賀県値を大きく上回っていますが、介護老人福祉施設・介護老人保健施設は県平均を下回っている状況です。

切れ目なく医療・介護を提供できる体制をつくるために複数の法人が地理的・機能的に重なりなく在宅医療・介護サービス施設を展開する必要があると考えます。

大津医療圏の現状と将来

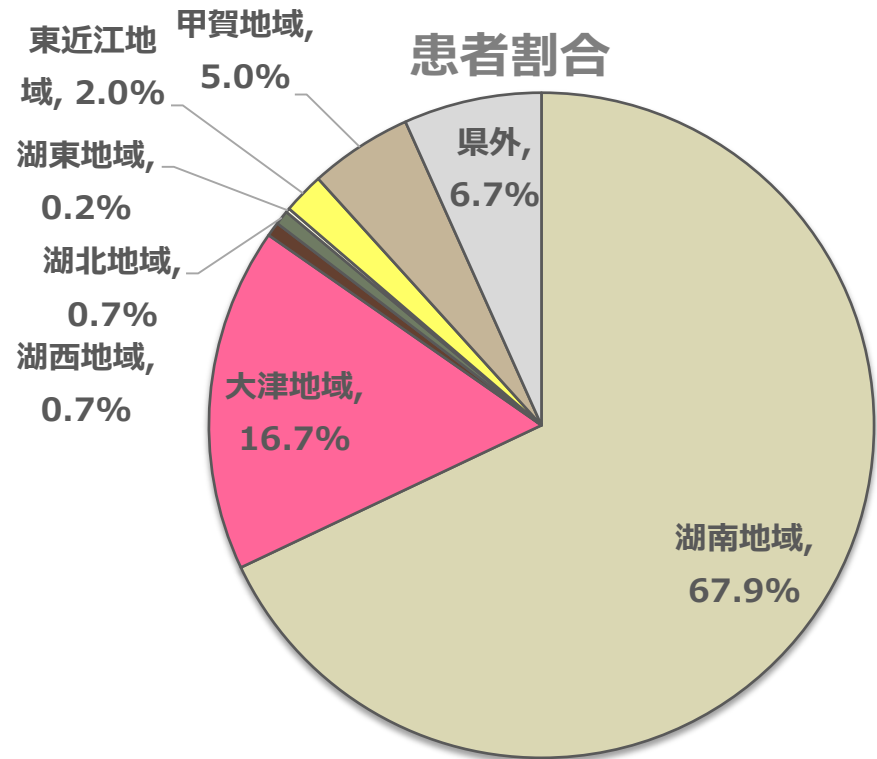
～大津区域と湖南区域～



患者さんの動向は東⇒西となっており湖南区域から大津区域への流出が多くなっています。

大津医療圏の現状と将来

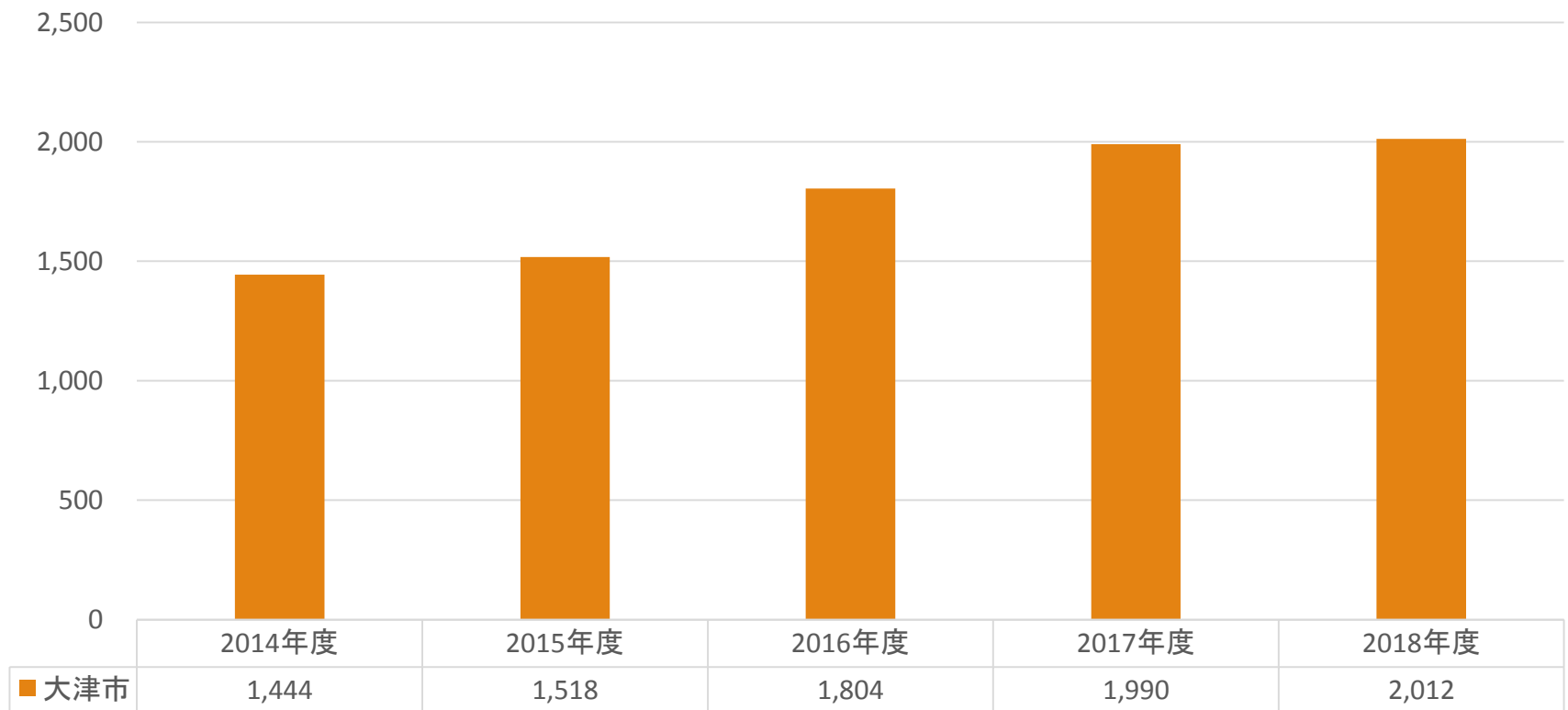
～大津区域と湖南区域～



草津総合病院では、大津区域からの流入が年々増加しています。

大津医療圏の現状と将来

～大津区域と湖南区域～

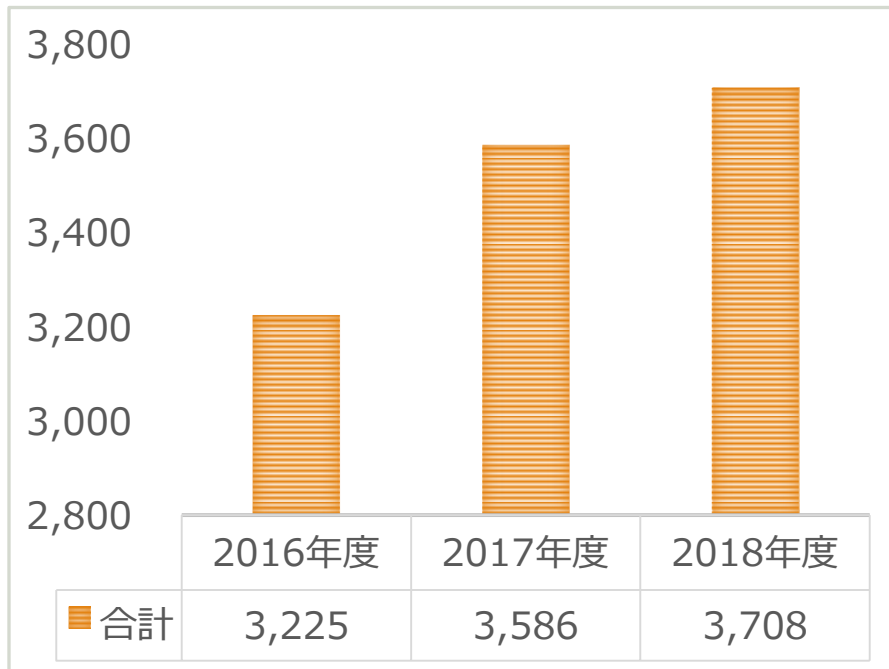


近江大橋無料化以降、大津市からの入院患者数が増加傾向となっています。

大津医療圏の現状と将来

～大津区域と湖南区域～

大津市域からの 紹介患者数の推移



大津市中学校区別 紹介患者数

	2016年度	2017年度	2018年度
瀬田学区	428	414	456
瀬田北学区	1,710	1,996	2,063
青山学区	103	60	71
石山学区	55	69	56
粟津学区	227	281	314
田上学区	51	52	58
南郷学区	112	130	100
打出学区	203	239	213
北大路学区	96	96	146
その他	240	249	231
合計	3,225	3,586	3,708

紹介患者さんも増加傾向となっています。

大津医療圏の現状と将来

～大津区域と湖南区域～

水谷医院	加藤内科胃腸科	祐森クリニック	大西皮フ科形成外科医院	レイクこどもクリニック	さいとう整形外科医院
滋賀医科大学医学部附属病院	たか耳鼻咽喉科医院	北村医院	大西クリニック	クリア歯科滋賀石山院	くどうクリニック
かとう医院	本田眼科	日本電気硝子ヘルスケアセンター	村田歯科医院	東洋紡織総合研究所・診療所	おち医院
大道医院	琵琶湖大橋病院	藤岡内科医院	曾田医院	林クリニック	おうみのくにクリニック
瀬田耳鼻咽喉科	小西医院	東野歯科医院	曾根歯科医院	中井医院	かわむら整形外科・内科クリニック
金田医院	山中医院	大村整形外科医院	臈所つめおか歯科医院	大西医院(大津)	井上医院(大津市)
大津市民病院	駒井クリニック	打出病院	前田医院	坂本民主診療所	松が丘内科診療所
滋養病院	吉田医院	増田歯科医院	西大津耳鼻咽喉科	まるやま歯科クリニック	かやはら歯科クリニック
桐生園	琵琶湖病院	青地うさだクリニック	瀬古内科クリニック	パールデンタルクリニック	美崎ファミリークリニック
井上医院(大津)	大津赤十字志賀病院	上原医院	小泉医院	おおつデンタルクリニック	西村整形外科医院
田中皮フ科医院	成田矯正歯科医院	小川歯科医院	小沢耳鼻咽喉科医院	木下レディースクリニック	つかだ矯正歯科
竹林ウイメンズクリニック	瀬田医院	山田内科	小川沢歯科診療所	田中診療所	あさいこどもクリニック
大津赤十字病院	吉徳医院	山田整形外科病院	滋賀県職員診療所	青木医院	本丸たけだ医院
松島産婦人科医院	北村クリニック	湖南クリニック	山本整形外科医院	小西醫院	前田クリニック
瀬田川病院	リバーサイドクリニック	原田医院	山元整形外科医院	滋賀大学保健管理センター分室	西川歯科医院
まつだ医院	おの医院	坂部医院	湖都クリニック内科循環器内科	豊庭医院	森井眼科医院
玉川医院	木下産婦人科	介護老人福祉施設 福寿荘	戸崎歯科医院	(閉院) 若松医院	小児科おく快医院
琵琶湖養育院病院	若松医院	よしだクリニック	桂川レディースクリニック	雄琴歯科医院	関西電力株式会社 滋賀支社 健康相談室
レイクサイドクリニック	滋賀県総務部総務事務・厚生課健康管理係	やすひ総合内科クリニック	福島耳鼻咽喉科	福島眼科	横田眼科
のむら眼科	貴田耳鼻咽喉科	むらた歯科クリニック	伏木医院	福島内科医院	ますぎ歯科クリニック
岡島内科胃腸科医院	能谷大学瀬田診療所	ほんだクリニック	波田内科医院	藤野医院	ほんだ皮フ科クリニック
たかこレディスクリニック	鶴岡眼科医院	ふじかわ耳鼻咽喉科	金谷クリニック	藤田整形外科医院	にの浜クリニック
ほりい矯正歯科クリニック	滋賀里病院	ひかり病院	桐山皮ふ科	株式会社サンテリカ滋賀事業所	ときき坂メンタルクリニック
いしやま内科整形外科	桂医院	たなか耳鼻咽喉科	岩波整形外科医院	永井医院	チルシー
湖山クリニック	奥村医院	せと肛門腸科クリニック	株式会社サンテリカ滋賀事業所	井上医院(草津)	北雄クリニック
おおむら内科クリニック	遠藤クリニック	さいぎ整形外科	伊藤医院	伊藤医院	北村整形外科
はえち診療所	しま歯科クリニック	きつみのクリニック	ローズ診療所	多田歯科医院	八木歯科
滋賀県厚生農業協同組合連合会	かながわ歯科醫院	いのうえ眼科	レーク・ホロニー	村田内科小児科クリニック	日本精工(株) 大津工場診療所
川会内科医院	尾松歯科医院	いなぎハートクリニック	よしかわ歯科医院	臈所グリーン歯科	大津市健康管理医
さくらクリニック	青木レディースクリニック	B・O・Hケア・サービスセンター	みやこ皮フ科	泉内科循環器科医院	増田耳鼻咽喉科医院
ファミーユ福田歯科	西大津歯科医院	高山歯科医院	みずき皮フ科クリニック	石川歯科	臈所梅岡歯科
藤井医院	西山医院	和迹診療所	まつだ内科胃腸科	石川眼科クリニック	森寺眼科医院
琵琶湖中央病院	瀬田グリーン歯科	林内科クリニック	矢沢耳鼻咽喉科医院	重永医院	重永医院
西角三愛小児科	佐々木医院	由良クリニック	野口医院	滋賀県教育委員会事務局 健康福利室	滋賀県教育委員会事務局 健康福利室
瀬田クリニック	やまもとファミリークリニック	たけだクリニック	野野山医院	滋賀県病院事業庁経営管理課総務係	滋賀県病院事業庁経営管理課総務係
井上医院	みどりの丘歯科クリニック	なかじま内科クリニック	ハッピー-ねもとクリニック	滋賀県歯科医師会口腔衛生センター	滋賀県歯科医師会口腔衛生センター
三大寺ハビリアクリニック	こころ歯科クリニック	つづみ眼科	みやこ皮フ科	滋賀医科大学保健管理センター	滋賀医科大学保健管理センター
伊豆蔵医院	えいこう歯科医院	たけだクリニック	みずき皮フ科クリニック	佐野眼科クリニック	佐野眼科クリニック
藤井皮フ科クリニック	目片歯科医院	特別養護老人ホーム カーサ月の輪	おかじまクリニック	光吉歯科医院	光吉歯科医院
くるづ外科医院	大津クリニック	東レ株式会社滋賀事業場健康管理センター	かわむら医院	岡本医院	岡本医院
中川歯科医院	南大津クリニック	東レ株式会社滋賀事業場健康管理センター	かやの浦小林診療所	観山歯科医院	観山歯科医院
臈所診療所	大村整形外科	東レ株式会社滋賀事業場健康管理センター	おかじまクリニック	綾羽株式会社 健康推進室	綾羽株式会社 健康推進室
わかばやし皮ふ科クリニック	滋賀県健康づくり財団	中橋歯科医院	市立大津市民病院	ふじおかクリニック	ふじおかクリニック
もみじが丘診療所	滋賀医科大学 公衆衛生学部	竹村皮フ科クリニック	あそクリニック	ふくた診療所	ふくた診療所
夕照歯科	桜谷診療所	竹下整形外科	あそクリニック	たかよし小児科循環器科医院	たかよし小児科循環器科医院
つかだ内科クリニック	下嘉医院	滝本医院	桐橋整形外科	しばやま耳鼻咽喉科クリニック	しばやま耳鼻咽喉科クリニック
浮田クリニック	粟津診療所	大津市総合保健センター	本田眼科	さら歯科医院	さら歯科医院
山口医院	よしかわ医院	大津京おおほ区歯科医院			
もりかわ歯科医院	高岡医院				

(2016年度～2018年度の3年間で紹介・逆紹介の実績があるクリニックや施設 289施設)

第3 地域医療連携推進法人が担う役割

地域医療連携推進法人が担う役割

～滋賀県地域医療構想との整合性～

滋賀県地域医療構想 (「7 構想実現に向けた施策」より)	医療連携推進方針（医療連携推進業務）	
(1) 病床機能分化・連携の推進	医療機能の相互補完と 病床機能分化	(1) 地域医療構想の達成及び地域包括ケアシステムの構築に資する医療機能の相互補完に取り組みます (7) 患者・利用者に切れ目なく医療・介護を提供するために参加法人間で施設稼働状況を共有し、最適な医療・介護を提供するために『びわ湖あさがおネット』を活用することで患者・利用者の情報共有を行います。
(2) 地域包括ケアシステムの充実	在宅医療と業務連携 予防の充実	(2) 在宅医療との業務連携を推進し、患者・利用者が参加法人施設間で移動が必要となった際にはサポートカーの運行を実施します。 (3) 特定保健指導等の健診後フォローに取り組むことで予防医療の充実にはかります。
(3) 医療・介護従事者の確保・ 養成	参加法人間の職員 派遣、共同での人材 育成・共同研修	(4) 参加法人の医療・介護従事者の資質向上に資する研修を共同で開催します。 (5) 参加法人内で不足する介護従事者の養成を行います。 (6) 参加法人における人的資源の相互補完を目的とした職員相互派遣を実施します。
その他の医療・介護サービスを将来に 渡って安定的に提供するための施策	医療機器の共同利用 医薬品・診療材料等の 共同交渉・共同購入 委託業務の共同交渉	(8) 医療機器の共同利用を促進します。 (1 1) 参加法人が使用する医薬品・医療材料・医療機器・給食サービス・情報システム・業務委託等の共同購買と一括価格交渉を行います。 (9) 経営効率向上に資するノウハウを参加法人間で共有します。 (1 1) 参加法人の給与計算、採用活動、広報活動、決算処理業務等の管理業務を共同で実施することで効率化を図ります。

地域医療連携推進法人が担う役割

～滋賀県地域医療構想との整合性～

(1) 病床機能分化・連携の推進

1-1. 病床機能と必要量

医療機能区分	2025年医療需要 (患者住所地ベース の医療需要) (人/日)	2025年医療供給		2015年時点の 医療機能	必要量と現状と の差
		現在の医療提供体 制が変わらないと仮 定した場合の供給数 (人/日)	病床の必要量 (病床稼働率で割 り戻した病床数) (床)		
高度急性期	283	352	470	1,292	822
急性期	810	905	1,161	962	▲ 199
回復期	819	865	961	233	▲ 728
慢性期	676	593	645	737	92
(無回答)	—	—	—	22	—
合計	2,588	2,715	3,237	3,246	9

高度急性期・急性期機能では、区域内完結率が高い状態となっています。一方で慢性期機能の区域内完結率は、67.0%となっており、京都や湖南区域に流出している状況です。平均在院日数が短縮される中、急性期から回復期・慢性期・在宅療養等に移行する入院患者や家族が安心して退院できるよう、広域での回復期機能・慢性期機能・介護施設・在宅医療・在宅介護の連携強化を目指します。

地域医療連携推進法人が担う役割

～滋賀県地域医療構想との整合性～

1 - 2. 湖南メディカル・コンソーシアムの回復期機能・慢性期機能・介護施設

① 回復期機能・慢性期機能の病床

	一般	回復期	地域包括	医療療養	(介護医療院)
草津総合病院	370床	42床	108床	99床	(100床)
南草津病院		77床		60床	
琵琶湖養育院病院	25床		18床	111床	

② 介護施設 (介護老人福祉施設・介護老人保健施設)

	介護老人福祉施設	介護老人保健施設		介護老人福祉施設	介護老人保健施設
社会医療法人誠光会		1施設	医療法人芙蓉会		1施設
社会福祉法人誠光福祉会	1施設		社会福祉法人よつば会	5施設	
医療法人華頂会		1施設	社会福祉法人しあわせ会	1施設	
社会福祉法人華頂会	1施設				

上記の回復期機能・慢性期機能・介護施設だけでなく、在宅医療・介護との連携強化も目指します。

地域医療連携推進法人が担う役割

～滋賀県地域医療構想との整合性～

1-3. 空き病床の情報共有・質に関する相互チェック・共同研修・びわ湖あさがおネット講習会

① 空き病床の情報共有

施設名	病床数	ICU	2023年01月																															
			01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
〇〇病院	25	10	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	10	5	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	5	2	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

病院・施設間で必要な空床についての情報を選定し、毎朝共有する仕組みを構築します。

② 質に関する相互チェック・共同研修



参加法人がそれぞれの病院の医療をチェックし合うことで、質を担保する仕組みを構築します。また、ここで明確となった課題を解決するべく共同で行う研修についても企画・実行致します。

地域医療連携推進法人が担う役割

～滋賀県地域医療構想との整合性～

1-3. 空き病床の情報共有・質に関する相互チェック・共同研修・びわ湖あさがおネット講習会

③ 「びわ湖あさがおネット」講習会

－ ICT がたなく、あなたの医療と介護 －

知らなかった！ 利用者から学ぶ、**びわ湖あさがおネット**の役割と役立つ機能

2019年 **2月7日(木)** 18:00～19:30
草津総合病院 9階あおなホール／草津市矢橋町 1660

「びわ湖あさがおネット」のこと、皆さんはどこまでご存知ですか？
「聞いたことあるけど使ったことがない」という方、多いのではないのでしょうか？
「びわ湖メディカルネット」と「浪瀬あさがおネット」の一体化で何が変わったのか、
湖南圏域の地域包括ケアで私たちは ICT とどう向き合えばよいのか？

実は「びわ湖あさがおネット」は簡単に使うことができます。
そしてそれによって、湖南圏域の地域包括ケアが大きく変わります。
私たちが知らなかった「びわ湖あさがおネット」の可能性を共有し、
活用に向けたアクションを行います。

第1部 18:00～19:10
びわ湖あさがおネットの利用体験
木須野百合 先生（きづきクリニック院長 滋賀県医師会 理事）

第2部 19:10～19:30
導入方法やサポート、Q&A
鈴木孝世 先生（社会医療法人誠光会 理事 びわ湖あさがおネット 理事）

主催：湖南医療圏医療介護情報連携ネットワーク協議会
草津市医師会、守山野洲医師会、草津市医師会、山梨県山梨県医師会、びわこ東部医師会、守山野洲医師会、
草津総合病院、草津市立小児保健施設センター、草津市立総合病院、草津市立山梨県病院、草津市立市民病院、草津市立
滋賀県立総合病院、草津市立総合病院、草津市立総合病院、草津市立総合病院、草津市立総合病院、草津市立総合病院、
草津市、守山市、東大井町、野洲市、草津市立総合病院（郡役所併設）



参加者	総数 79名
業種別	病院 35、診療所 3、 介護保険事業所 27(内居宅介護支援事業所 8、訪問看護 4)、 地域包括支援センター4、行政機関 7、事務局 3、
職種別	医師 16、薬剤師 1、保健師 2、看護師 9、介護職 2、介護支援専門員 14、 主任介護支援専門員 3、言語聴覚士 1、作業療法士 2、理学療法士 3、 社会福祉士 5、管理者 1、代表 1、役員 1、システムエンジニア 1、事務 17、
業種別	
職種別	

医療機関・介護施設間での連携強化を図るため、「びわ湖あさがおネット」を活用した患者情報の共有を強化します。ID交付の為の講習会等を積極的に開催します。

地域医療連携推進法人が担う役割

～滋賀県地域医療構想との整合性～

(2) 地域包括ケアシステムの充実

2-1. 在宅医療等

2025年の在宅医療等の需要は2013年の1.65倍に増える見込みとなっています。このような中、限られた人的資源を有効に活用する為に競争よりも協調という地域医療連携推進法人の設立目的に則り、参加法人が地域や機能が重ならないように調整し、在宅医療等の整備を促進します。

2-2. 地域包括ケアシステムの充実

参加法人の病院（大津：1施設、湖南：2施設）とクリニック（大津：2施設、湖南：3施設）・介護老人保健施設（大津：1施設、湖南：2施設）・介護老人福祉施設（大津：2施設、湖南：6施設）・グループホーム（大津：1施設、湖南：5）・訪問看護ST（大津：1施設、湖南：1施設）等が大津区域の医療機関・介護施設と連携することで地域で安心して最期まで暮らせるまちづくりを目指し、医療・介護連携システムを構築します。また、今後も滋賀県健康医療福祉部の「健康しが」の取り組みに参画させていただくことで、健康づくりや介護予防を推進し、健康でいきいきと生活できるまちづくりを目指します。

地域医療連携推進法人が担う役割

～滋賀県地域医療構想との整合性～

(3) 医療・介護従事者の確保・育成

3-1. 職員の相互派遣（出向）

今後具体化される「働き方改革」の各事項を履行する為に近隣の法人が人的資源を互いに補完し合うことを目指します。具体的には参加法人職員の相互派遣（出向）等を実施し、医療従事者が、まとまった休みをとれる状態を作ります。

3-2. 共同研修

参加法人が互いの施設をチェックし、質的向上を目指すべきポイントを明らかにします。ここで明らかになったポイントに対する教育を実施することと新卒者研修等を共同で実施します。

3-3. 介護従事者の確保

介護従事者が慢性的に不足している状況の中、人材確保・定着対策をより一層強化する必要があります。そこで、募集や採用を連携推進法人として協力して行うことで効果的な採用活動を実施いたします。また、外国人技能実習生の受け入れ等も共同で行い、介護従事者の確保に努めます。

ご清聴ありがとうございました。

参考：地域医療連携推進法人が担う役割

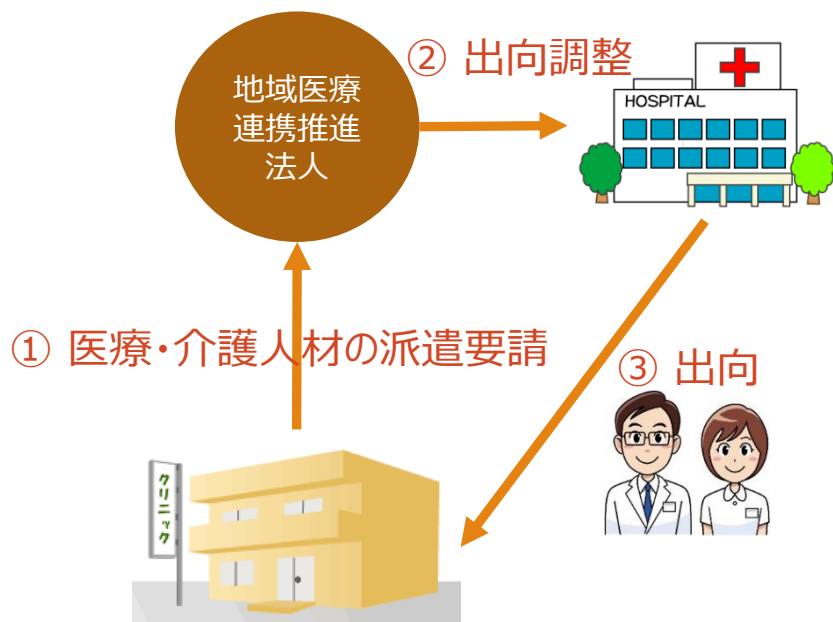
～具体的な取り組み～

地域医療連携推進法人が担う役割

～具体的な取り組み内容～

1 医療従事者の相互派遣（出向）

急な退職者が出たときや、まとまったお休みをおとりになりたいとき、外来診療科の開設が必要となったとき等、必要に応じて医師、看護師等の出向を調整いたします。



2 共同研修

経験別・役職別・職種別の教育システムを構築し、複数施設合同で研修を実施いたします。また、医療・介護の先端・専門研修の共同開催も行います。

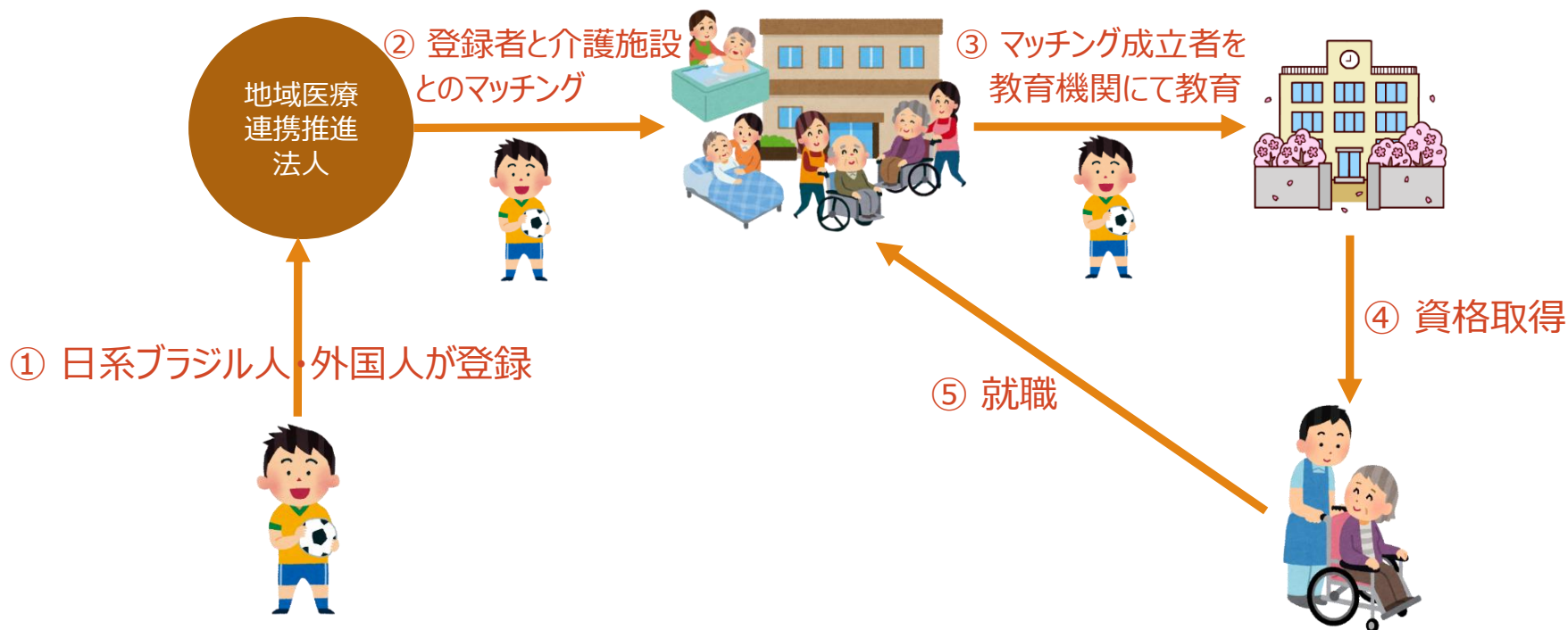


地域医療連携推進法人が担う役割

～具体的な取り組み内容～

3 介護従事者等の資格取得支援

特に不足している介護従事者の確保を目指し、地域医療連携推進法人が募集・採用し、参加法人にご紹介する方法と共に、日系ブラジル人や外国人の資格取得支援も行います。



地域医療連携推進法人が担う役割

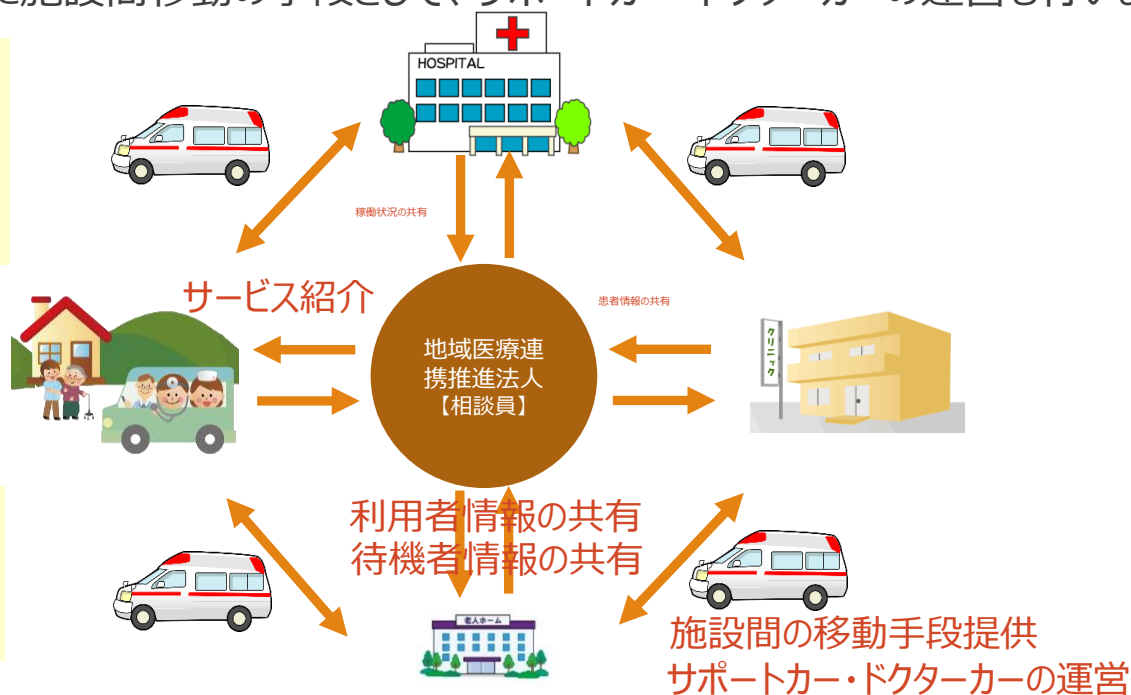
～具体的な取り組み内容～

4 『びわ湖あさがおネット』の活用と地域包括ケアシステムの支援

『びわ湖あさがおネット』参加施設の拡大を支援し、これを活用することで患者・利用者情報の共有を促進します。また、患者・利用者にとって最適な医療・介護サービスを提供するために参加施設の稼働状況の情報共有も行います。さらに施設間移動の手段として、サポートカー・ドクターカーの運営も行います。

地域医療連携推進法人が中心となって各種法人・施設・職能団体等に対し『びわ湖あさがおネット』参加を促す

患者・利用者情報を共有することで、適切な医療・介護を提供する

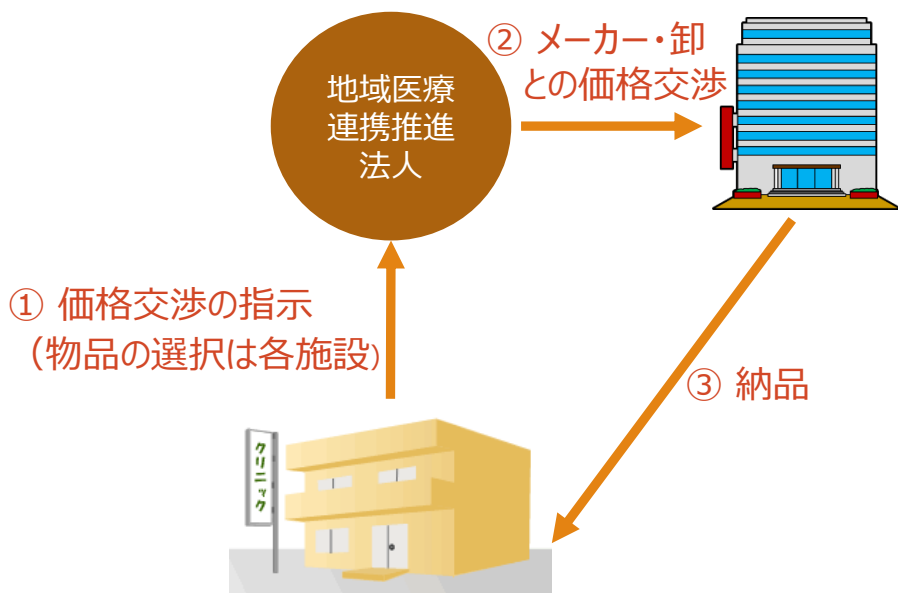


地域医療連携推進法人が担う役割

～具体的な取り組み内容～

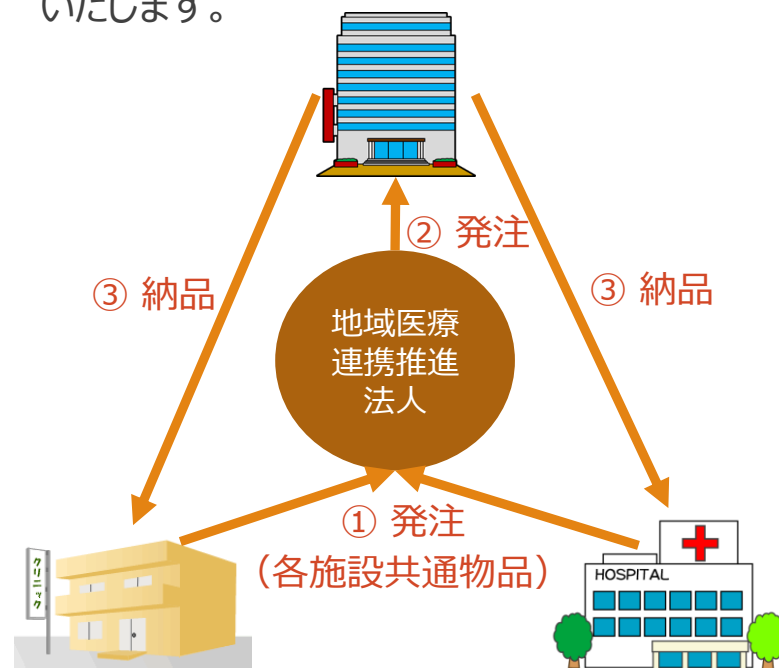
5 価格交渉代行（購買業務委託）

医薬品・診療材料・医療機器・給食サービス・情報システム・職員の福利厚生（住宅ローン金利等）・その他業務委託の一括価格交渉を実施いたします。



6 共同購買

医薬品・診療材料・医療機器・給食サービス・情報システム・職員の福利厚生（団体保険等）・その他業務委託の共同購買を実施いたします。

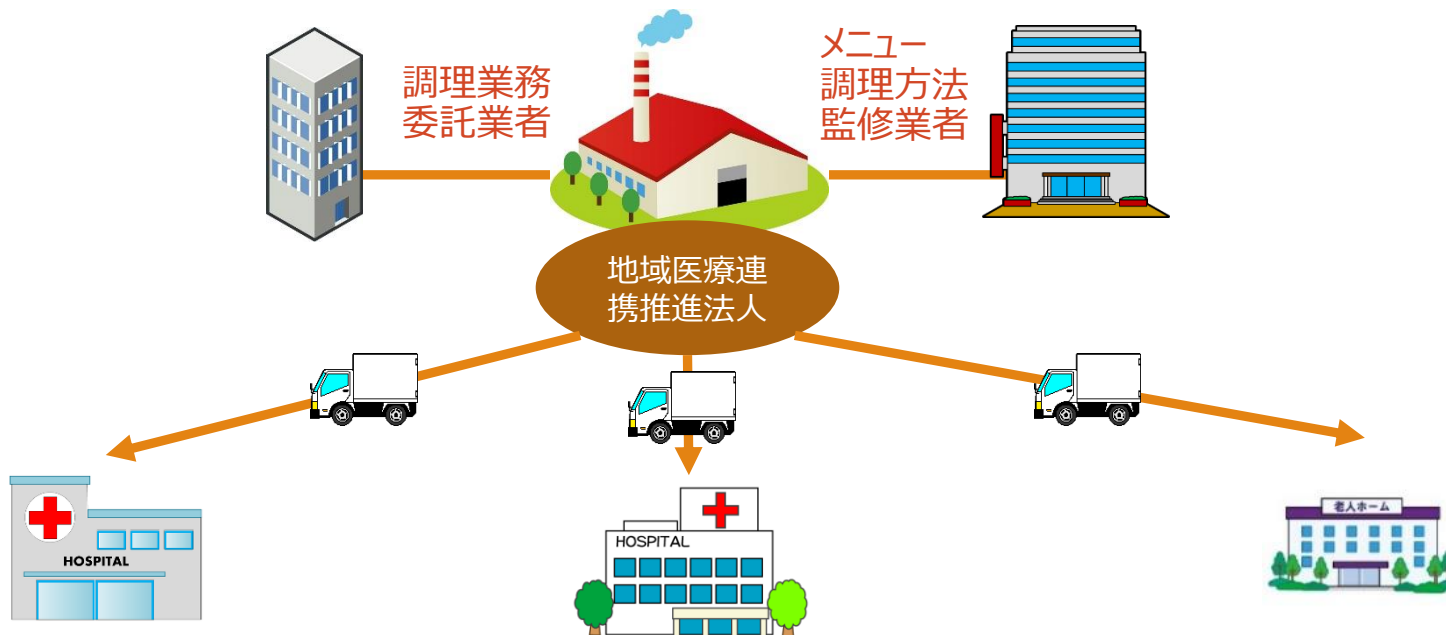


地域医療連携推進法人が担う役割

～具体的な取り組み内容～

7 給食セントラルキッチン

現在、早朝勤務と深夜勤務の調理師の確保が困難な状況です。人員を確保できたとしても人件費が高騰していることから食材費を圧縮している状況です。この為、患者の給食への評価は年々悪くなっています。今後もこの状況が続くことが予想される為、人員の確保が比較的容易な時間帯で翌日分の3食を作り、冷凍保存するセントラルキッチンの運営を計画していきたいと考えています。



地域医療連携推進法人が担う役割

～具体的な取り組み内容～

8 事務業務の効率化

各施設で共通する給与計算・採用活動・広報活動・決算業務等の事務業務を受託することで効率化を目指します。

